

総合計画審議会意見

【まちづくりの方向】

子育て・子育て支援が充実したまち 誰もがいきいきと暮らせるまち

及び

市民アンケート結果の分析（交通の利便性）

- 本資料は、審議会（全体会及び専門部会）で頂いた主なご意見について、整理した資料です。

2021（令和3）年12月4日

中期計画に関するご意見

【まちづくりの方向2】子育て・子育て支援が充実したまちに関するご意見		
分野	主な意見	次期計画への反映等
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 不安を感じている方の気持ちを受け止める場所などの相談体制が必要である 	重点施策及び分野12「ともに支え合う地域共生社会の実現」の主な取組「1.包括的支援体制の構築」等に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 産前産後支援などの母親へのサポートの充実が必要である 	分野7「子どもの成長・発達への総合的な支援」の主な取組「1.母子保健対策の推進」に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てに関わりたいけど関われない方も多いため、親の働き方に関する取組も必要である ● 女性が仕事をしながら、安心して子育てが出来るようなサポートを続けることが必要である（子育て世代の女性の再就職支援など） 	重点施策及び分野18「性別に関わらず活躍できる男女共同参画の推進」主な取組「1.男女共同参画のまちづくり」等に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の支援だけではなく、それをつなぐ人（コーディネートする人）が必要である 	土台となる取組の「未来を担うひとづくりの推進」等に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童虐待をする親は経済状況が不安定な親が多い印象があるため、子どもたちを救うためには親を助ける必要がある ● ヤングケアラーが社会的な課題となっているため、相談体制の充実が必要である 	分野6「子育て世代の夢と希望を叶える子育て環境の充実」の主な取組「5.児童虐待等への対応策の強化」に位置付け取組を進めます

中期計画に関するご意見

【まちづくりの方向2】子育て・子育て支援が充実したまちに関するご意見		
分野	主な意見	次期計画への反映等
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育者には発達の遅れをあきらめずに対応してほしい ● 教育の現場では帰国子女や家庭環境など違いに配慮し大切にすることが必要である ● 関係機関における「いじめ等」の徹底した防止対策と確実な対応を進めてほしい 	分野8「確かな学力と豊かな人間性をはぐくむ学校教育」の主な取組「3. 教職員の教育力の向上と学校現場の支援強化」等に位置付け取組を進めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 公立学校の伝達事項のデジタル化を進めることが必要である 	重点施策及び分野9「豊かな教育を推進するための学校教育整備」の主な取組「3. 教育におけるICT環境の推進」に位置付け取組を進めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中一貫校への期待は大きいため、子どもたちと一緒にまちづくりをするきっかけにしてほしい 	分野8「確かな学力と豊かな人間性をはぐくむ学校教育」の主な取組「1. 小中一貫教育の推進」等に位置付け取組を進めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりは人づくりであると考えており、今、子どもたちが一番影響を受けているため、子どもたちの教育をしっかり守ってほしい 	
家庭・学校・地域の協働	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の外の地域の方との学びの場の創出を進めることで、子どもたちが将来どのような仕事をしたいかなど、生きる力を身に付けることができるため、学校の外での子どもの学びの創出も必要である ● 来年度より本格実施予定のコミュニティスクールを市民に理解してもらうための情報発信が必要である 	重点施策及び分野10「家庭・学校・地域の連携・協働促進」の主な取組「3. 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進」に位置付け取組を進めます。

中期計画に関するご意見

【まちづくりの方向3】誰もがいきいきと暮らせるまちに関するご意見		
分野	主な意見	次期計画への反映等
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 共働きの世帯が増え、地域とつながる時間が減っているため、地域づくりをいかに進めるかの検討が必要である ● 地域コミュニティのあり方を宇治市としてどのように進めていくか検討が必要である 	重点施策及び分野11「市民主体の地域づくりの推進」の主な取組「1.地域活動の活性化の促進」等に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民ニーズに応じた市民活動の拠点としての公共施設や集会所を整備してほしい 	重点施策及び分野11「市民主体の地域づくりの推進」の主な取組「2.多様な交流空間の創出」等に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各公共施設の施設設備を感染症拡大防止の観点から整備してほしい 	重点施策①WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心に位置付け取組を進めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のことを自分事として捉えて地域の中に入っていくという意識が重要であることを盛り込んでほしい 	土台となる取組の「未来を担うひとづくりの推進」等に位置付け取組を進めます
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 包括的な相談や支援体制の整備 ● 相談をする場所も必要だが、ご家庭を訪問するなどのアウトリーチも必要である 	重点施策及び分野12「ともに支え合う地域共生社会の実現」の主な取組「1.包括的支援体制の構築」等に位置付け取組を進めます

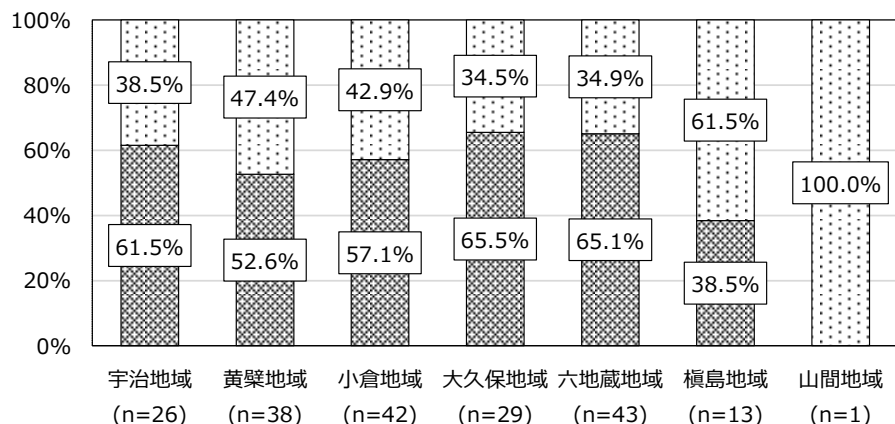
中期計画に関するご意見

【まちづくりの方向3】誰もがいきいきと暮らせるまちに関するご意見		
分野	主な意見	次期計画への反映等
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症に関して情報錯綜していたため、行政と医療などの関係者一体となり、よりわかりやすい言葉で正確な情報を発信してほしい ● 第5波までの流れの中でさまざまな情報が入ってきましたが、感染症について理解するため、市からの情報・啓発が必要である 	重点施策①WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心に位置付け取組を進めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 山城地域の他の市町と連携し、医療体制の充実を図る必要がある 	分野13「地域での健康づくりの推進と年金・医療保険制度の充実」の主な取組「3.医療提供体制の強化と感染症対策の推進」に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくりや食育に無関心の方も一定数いるため、無関心の方に食育や健康づくりを広めていくことが必要である ● コロナ禍で特に「健康のまちづくり」が非常に大切である 	分野13「地域での健康づくりの推進と年金・医療保険制度の充実」の主な取組「1.生涯を通じた健康づくりの推進」に位置付け取組を進めます
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもとの遊びを含めてた大人の学びを豊かにすることに力を入れてほしい 	分野16「市民が学び合う生涯学習社会の進展」の主な取組「2.生涯学習活動の推進と生涯学習環境の充実」等に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域づくりに市民の主体的な参加・参画を長期的に発展させていくための、生涯学習（特に身近な地域における成人学習）の機会を充実してほしい 	

市民アンケート 宇治市の住み心地及び定住意向の回答理由

宇治市の住み心地と定住意向の回答を選択した理由（自由記述）の結果で、もっともご意見の多かった交通の利便性に関するご意見を記載内容をもとに「地域別」「年代別」かつ「利便性が良い」「利便性が悪い」に分類・集計した結果は以下のとおりです。

地域別に見た交通の利便性に関する意見割合

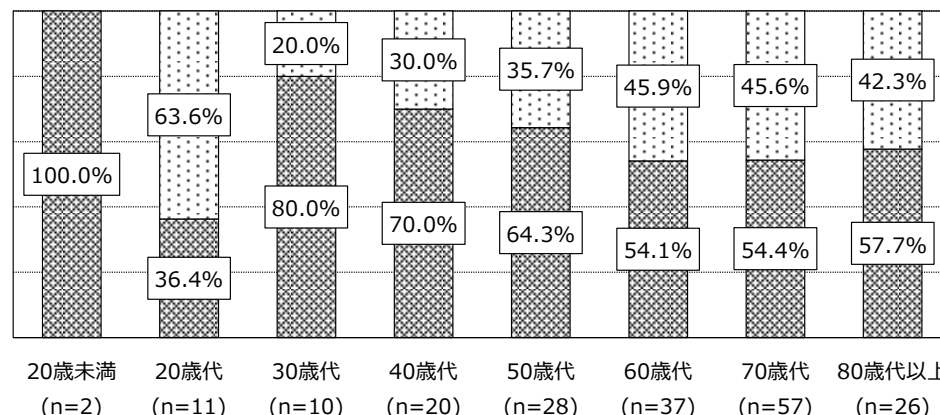


■ 利便性が良い □ 利便性が悪い

- **槇島地域**で交通の**利便性が悪い**というご意見の割合が**約6割**と他の地域と比べて高くなっています。
- **槇島地域と山間地域を除く地域**では、交通の**利便性が良い**というご意見が**半数以上**となっています。

JR、近鉄、京阪など鉄道沿線にお住まいの方や近くに商業施設など場所にお住まいの方は、交通の利便性が良いと感じている一方で沿線から離れた場所にお住まいの方は交通の利便性が悪い感じていると考えられます。

年代別に見た交通の利便性に関する意見割合



■ 利便性が良い □ 利便性が悪い ※年代未回答の1名を除く

- **20歳以下を除く年代**では交通の**利便性が良い**というご意見の割合が**半数以上**となっています。
- **20歳代**は交通の**利便性が悪い**というご意見の割合が**約6割**と他の年代と比べて高くなっています。また、**30歳代から60歳代**で交通の**利便性が悪い**というご意見が**年代が上がるにつれて割合が高くな**っています。

子育て世代など自家用車での移動が多いと考えられる年代は交通の利便性の悪さに対するご意見は少ない一方で、年代が上がるにつれて、免許返納などで日常生活に必要な移動に不安を感じている方が増えると考えられます。